



水泳競技 保田星願 選手（佐伯鶴城高校） 採用内定のお知らせ

社会医療法人 小寺会 佐伯中央病院は、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が実施しているトップアスリートの就職支援ナビゲーション「アスナビ」を通じ、水泳競技の保田 星願（やすだ せいが）選手を平成 29年4月1日より、当院の職員として採用することと致しました。

今回の採用は、大分県教育庁体育保健課を通じて、JOCの「アスナビ」制度を活用し保田選手を紹介していただき、選考した結果、内定に至りました。

当院は、社会医療法人として医療・介護福祉を通して地域文化への貢献を理念としており、また、スポーツを通じた人材育成・地域活性化に取り組んでいます。

このたび佐伯の地から国際大会での活躍を目指す保田選手をグループの一員として迎え入れることは、当院のみならず佐伯のまちに大きな夢と希望を与えてくれるものと確信しています。

◆保田選手のプロフィール

大分県佐伯市出身 県立佐伯鶴城高校卒業 18歳
日本障がい者水泳連盟A指定選手
戦績

2015年9月	IWAS SOCHI	SB8 100m平泳ぎ 4位
2016年7月	2016ジャパンパラ水泳競技大会	SM9 200m個人メドレー優勝 S9 100m 背泳ぎ 優勝
2016年11月	第33回日本身体障がい者水泳選手権大会	SM9 200m個人メドレー優勝 S9 100m 背泳ぎ 優勝 大会新記録



◆保田選手コメント

私は当初首都圏の大学への進学を考えていましたが、次第に生まれ育った佐伯市から信頼する指導者とともにパラリンピック出場を目指したいという気持ちが強くなっていました。

競技活動への理解をしてくれる就職先を模索する中、県のトップアスリート就職支援事業を通じてJOCの就職支援制度の「アスナビ」を紹介してもらいエントリーさせていただきました。

沢山の方々のご協力のお陰で、地元佐伯市の、社会医療法人小寺会 佐伯中央病院とのご縁をいただき、内定をいただくことができました。

佐伯市から世界を目指す機会を頂いたことに感謝しています。

入職後は常に感謝の気持ちを忘れず、仕事と競技を両立させ、患者さんや職員の方々、さらには地域の皆さんに勇気や元気を与えられるように精一杯頑張っていきます。

◆佐伯中央病院について

当院は昭和50年に「小寺内科医院」としてスタートし、患者様や時代のニーズに寄り添いながら糖尿病内科・整形外科を中心に地域医療に取り組んでいます。

スポーツを通じた人材育成・地域活性化の取り組みとして、女子ソフトボール部の活動にも力を注いできました。

昨年は全日本女子総合選手権、クラブ女子選手権ともに全国大会に出場し、競技面での実績を積みながら監督・選手は医療・介護現場においても貴重な戦力として力を発揮してくれています。



◆アスナビについて

「アスナビ」は、JOCゴールドプラン委員会スポーツ将来構想プロジェクトが推進する「世界を目指すトップアスリートの生活環境を安定させ、競技を安心して続けられる環境を作るために、企業のサポートを望むトップアスリートと雇用側である企業とのWin-Winの関係を作る」ことを目的とした活動です。

◆本リリースに関するお問い合わせ・ご取材依頼先

佐伯中央病院 事務部 担当：西村

Tel. 0972-22-8846 Fax. 0972-22-8844

E-mail : nishimura@saikichuo.net